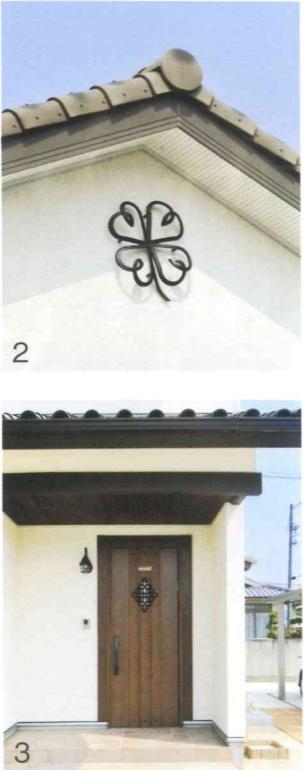




1.WB工法により1年中省エネができ、過ごしやすいリビングではおだやかな時間が流れます。すぐ隣に客間である和室も続きひとつつの空間をつくりています。2.3.重厚さを感じさせる玄関扉も四葉のクローバーの飾りでかわいらしい印象に。妻飾りと玄関に四葉のクローバーを目印とした。4.玄関の照明がエレガントな印象に。窓から光も風も取り込むことができ、明るい雰囲気で来る人を出迎えてくれます。5.Sさんご夫妻のお気に入りのシューズクローゼットに勝手口を設置、普段は勝手口から出入りしている。



2



3



4



5

ブラウンのグラデーションの焼き瓦が映えるSさんの家は南欧の赴きを感じさせる。光を取り込んだ明るい優しい印象。室内には木材を多用し柔らかな雰囲気をつくり出している。玄関に、リビングの壁もアイボリーで優しい印象。建具やTVボードなどは、橋本住建による造作家具。家のイメージに合わせつつ、施主の使いやすいサイズや仕様にこだわるのは、自社大工を持つ橋本住建の強み。着工後も細かい打ち合わせは続き、変更にもすぐに対応。大工さんから提案を出すこともあります。Sさんは頗もしく思っていたそうだ。

この家に暮らすようになつてから、休日も家で過ごす時間が多くなつたというSさん。居心地の良さはリビングの塗り壁とWB工法がつくり出す心地よい環境のおかげだ。夏の暑い日は換気口が自動で開き、床下の涼しい空気を循環させる。冬の寒い日は換気口が自動で閉じ、気密性を高め、外気温に直接冷やされない自然な通気とおりや湿気を透過することで、木造住宅の良さを引き出し、過ごしやすい空気をつくり出している。今までに比べてエネルギーを使う頻度が減り、それほど温度を下げなくても涼しい空気が循環するので、電気代の安さに驚いたそうだ。

ご主人とは感性や趣味が合うといふ奥さま。家づくりにおいても、安心して任せていた。そして、完成した家を見て、デザインからインテリアまでご主人の考え方や好みを再認識。変わらず同じ価値観でいることを嬉しく思ったそうだ。家づくりにはそ

好きなものを再確認できた家づくり

自社大工だからできる細かい気配りと最後まで徹底して良いものを追求するこだわり、過ごしやすい空気をつくるWB工法。健康で居心地良く過ごせる家には、住む人の感性とつくる人々の情熱が込められている。

施工:住建ホーム 有限会社橋本住建

会社の詳細は189p

BINGO-DE-TATERU-IE 2013-2014

146



キッチンの棚も家の雰囲気、奥さまの使いやすさに合わせて橋本建設がオリジナルで作成。奥の飾り窓からも光が差し込み明るい。

自社大工が作る住む人に合わせた世界に一つだけの家具



3



4

1.水が浸透しにくく、耐久性に優れる焼き瓦を使用。
2.柱や梁を露出し、ファンが目立たないよう照明を設置。
3.容量の多い造作食器棚。奥には勝手口へと続くパントリー。
4.2階の廊下はバルコニーの出入り口。室内物干し竿は洗濯物を取り込むときにも便利。
5.介護用という大きめシンクを備えた洗面台は、鏡のサイズもリクエスト。
6.トイレには調湿やにおいを吸収するエコカラットの壁材を使用。



5



6



2